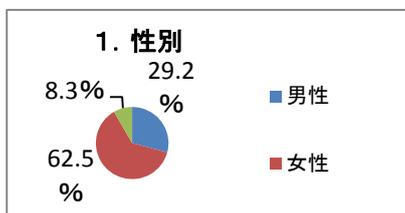


女性活躍推進フォーラム

平成27年11月29日(日)実施
 鳴門市ドイツ館 1F大会議室
 午後1時～4時15分

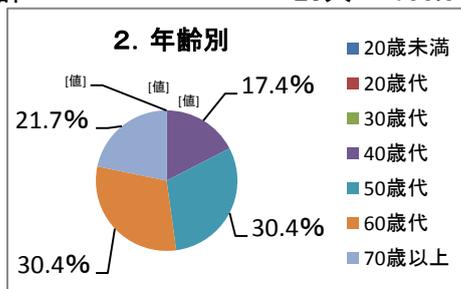
(フューチャーセッション参加者60名、オブザーバー40名)

性別	参加人数	構成比
男性	7人	29.2%
女性	15人	62.5%
無記入・不明	2人	8.3%
合計	24人	100.0%



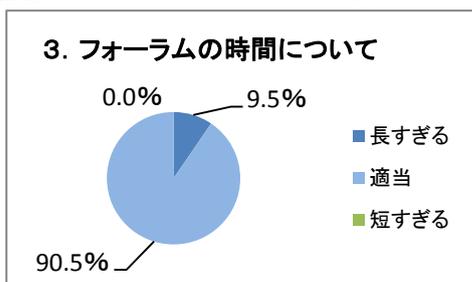
【参加者数】 100名
 (うちアンケート有効回収数: 24)
 ◆性別については、29.2%が男性、62.5%が女性、8.3%が無記入・不明であった。

年齢	参加人数	構成比
20歳未満	0人	0.0%
20歳代	0人	0.0%
30歳代	0人	0.0%
40歳代	4人	17.4%
50歳代	7人	30.4%
60歳代	7人	30.4%
70歳以上	5人	21.7%
合計	23人	100.0%



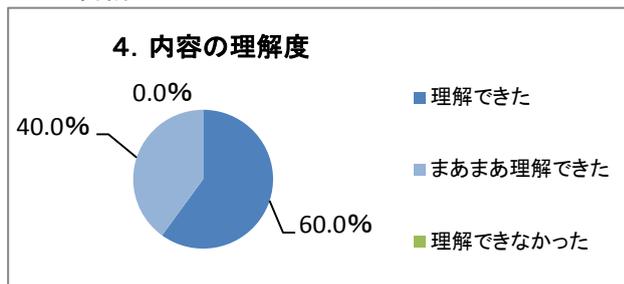
◆年齢別では、50歳代、60歳代がともに30.4%、70歳以上が21.7%、40歳代が17.4%となった。

フォーラムの時間について	参加人数	構成比
長すぎる	2人	9.5%
適当	19人	90.5%
短すぎる	0人	0.0%
合計	21人	100.0%



◆フォーラムの時間については、適当であったとの回答が90.5%と9割以上を占め、内容との時間がよかったと考えられる。

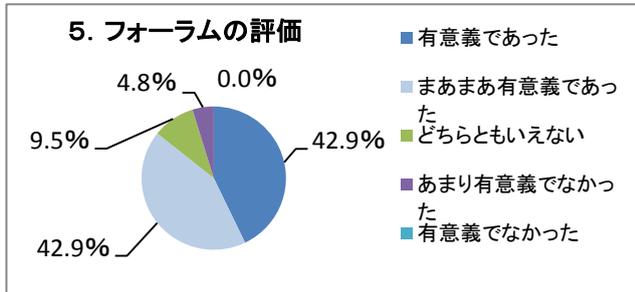
内容の理解度は	参加人数	構成比
理解できた	12人	60.0%
まあまあ理解できた	8人	40.0%
理解できなかった	0人	0.0%
合計	20人	100.0%



◆内容の理解度については、「理解できた(60.0%)」「まあまあ理解できた(40.0%)」と、全体的に理解を得られている。

5. フォーラムの評価はどうであるか(5段階評価)

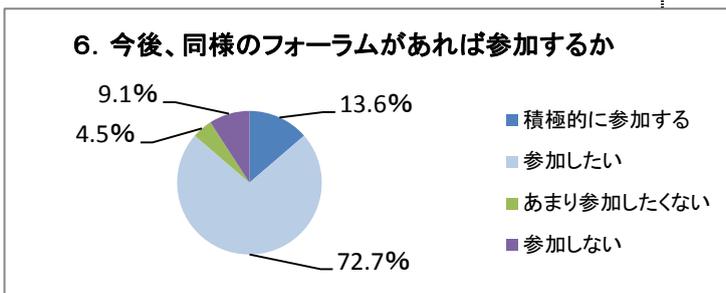
有意義であった	9人	42.9%
まあまあ有意義であった	9人	42.9%
どちらともいえない	2人	9.5%
あまり有意義でなかった	1人	4.8%
<u>有意義でなかった</u>	<u>0人</u>	<u>0.0%</u>
合計	21人	100.0%



◆フォーラムの評価としては、「有意義であった(42.9%)」及び、「まあまあ有意義であった(42.9%)」が全体の85.8%であり、概ね有意義であったと考えられる。

6. 今後もこのようなフォーラムがあれば参加するか

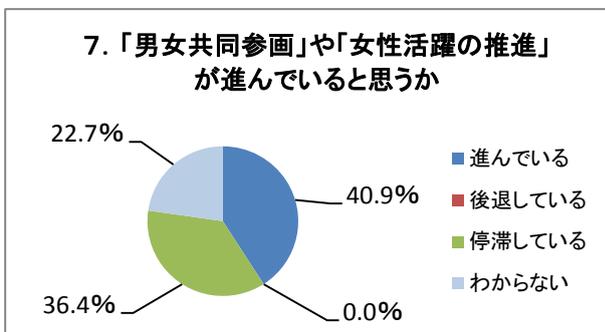
積極的に参加する	3人	13.6%
参加したい	16人	72.7%
あまり参加したくない	1人	4.5%
<u>参加しない</u>	<u>2人</u>	<u>9.1%</u>
合計	22人	100.0%



◆同様のフォーラムが開催された場合、「積極的に参加する(13.6%)」、「参加したい(72.7%)」合わせて86.3%となり、このようなフォーラムへの参加意識は高いと考えられる。

7. 「男女共同参画」や「女性活躍の推進」が進んでいると思うか

進んでいる	9人	40.9%
後退している	0人	0.0%
停滞している	8人	36.4%
<u>わからない</u>	<u>5人</u>	<u>22.7%</u>
合計	22人	100.0%



◆男女共同参画や女性活躍の推進が進んでいるかについては、「進んでいる」が40.9%で最も高く、「停滞している」は36.4%、「わからない」という意見も22.7%あった。

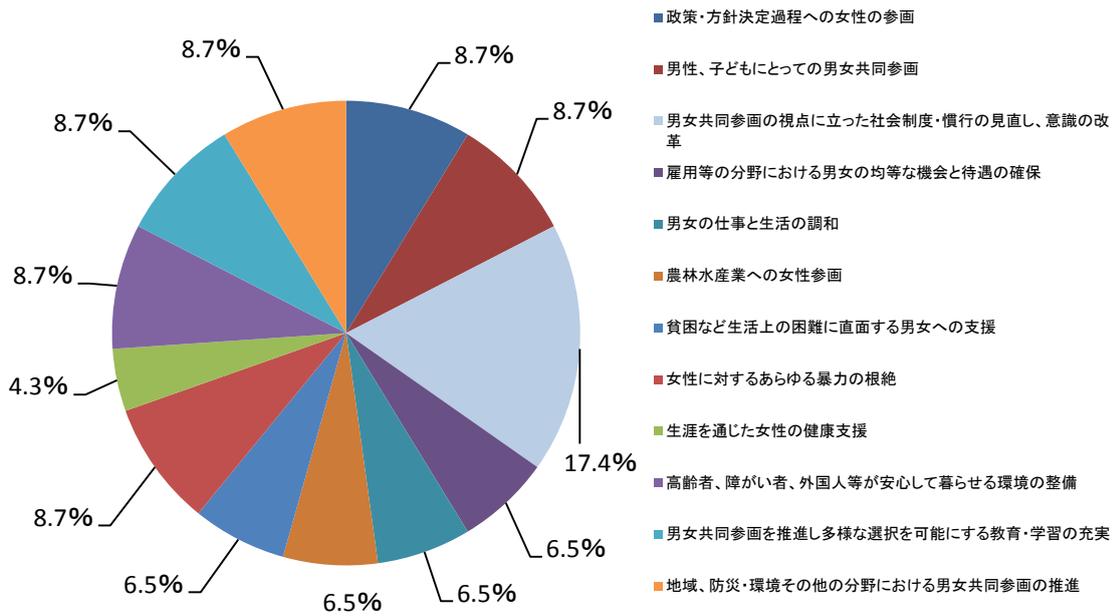
8. 「男女共同参画・女性活躍の場」が進んでいると思う分野(3つ回答)

ア	政策・方針決定過程への女性の参画	4人	8.7%
イ	男性、子どもにとっての男女共同参画	4人	8.7%
ウ	男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革	8人	17.4%
エ	雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保	3人	6.5%
オ	男女の仕事と生活の調和	3人	6.5%
カ	農林水産業への女性参画	3人	6.5%
キ	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援	3人	6.5%
ク	女性に対するあらゆる暴力の根絶	4人	8.7%
ケ	生涯を通じた女性の健康支援	2人	4.3%
コ	高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備	4人	8.7%
サ	男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実	4人	8.7%
シ	地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進	4人	8.7%
		46人	100.0%

◆一応に、何らかの人権への関心や意識はある。

なかでも、「男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革」が最も高く、17.4%を占めた。

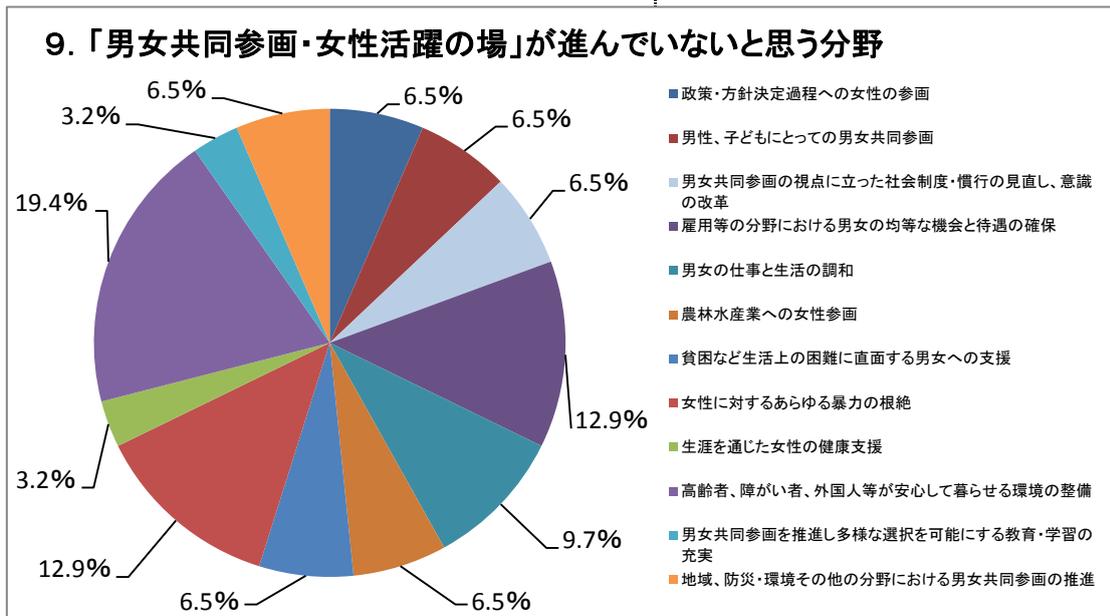
8. 「男女共同参画・女性活躍の場」が進んでいると思う分野



9. 「男女共同参画・女性活躍の場」が進んでいない・後退していると思う分野(3つ回答)

ア	政策・方針決定過程への女性の参画	2人	6.5%
イ	男性、子どもにとっての男女共同参画	2人	6.5%
ウ	男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革	2人	6.5%
エ	雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保	4人	12.9%
オ	男女の仕事と生活の調和	3人	9.7%
カ	農林水産業への女性参画	2人	6.5%
キ	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援	2人	6.5%
ク	女性に対するあらゆる暴力の根絶	4人	12.9%
ケ	生涯を通じた女性の健康支援	1人	3.2%
コ	高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備	6人	19.4%
サ	男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実	1人	3.2%
シ	地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進	2人	6.5%
		31人	100.0%

◆「男女共同参画・女性活躍の場」が進んでいないと思う分野について、「高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備」が19.4%、次いで「雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保」、「女性に対するあらゆる暴力の根絶」がともに12.9%と続いた。

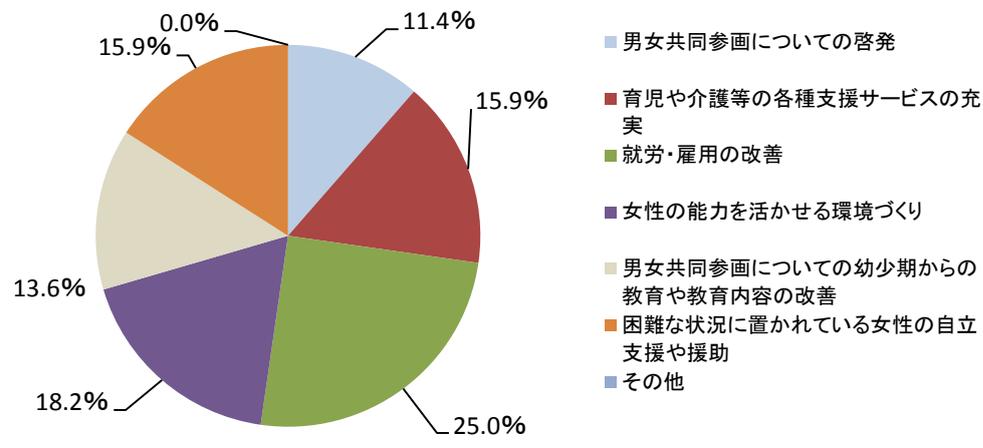


10. 男女共同参画社会実現のためにどのような施策・事業が必要か？

ア	男女共同参画についての啓発	5人	11.4%
イ	育児や介護等の各種支援サービスの充実	7人	15.9%
ウ	就労・雇用の改善	11人	25.0%
エ	女性の能力を活かせる環境づくり	8人	18.2%
オ	男女共同参画についての幼少期からの教育や教育内容の改善	6人	13.6%
カ	困難な状況に置かれている女性の自立支援や援助	7人	15.9%
キ	その他	0人	0.0%
		44人	100.0%

◆男女共同参画社会実現のための施策・事業として、どの項目も必要との回答が一定程度あったが、その中で最も多く挙げられたのが「就労・雇用の改善」で25.0%であった。次いで「女性の能力を活かせる環境づくり(18.2%)」、「育児や介護等の各種支援サービスの充実(15.9%)」、「困難な状況に置かれている女性の自立支援や援助(15.9%)」となった。

10. 男女共同参画社会実現のために必要な施策・事業

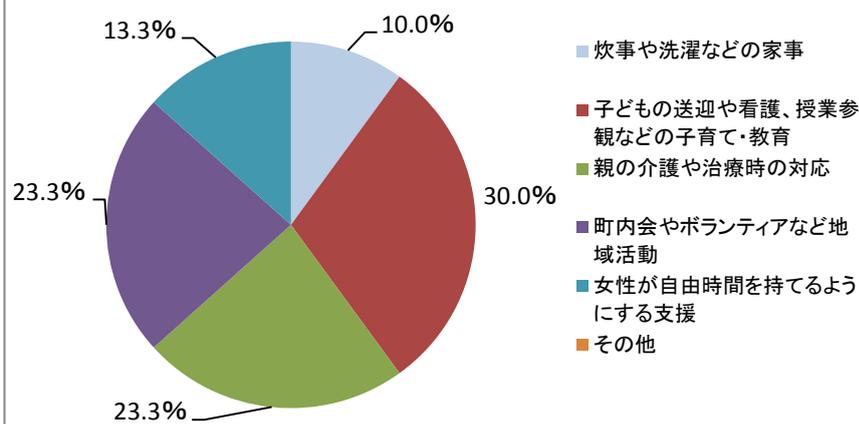


11. 家庭生活の中で、男性がもっと担うべきことは何ですか？(2つ回答)

ア	炊事や洗濯などの家事	3人	10.0%
イ	子どもの送迎や看護、授業参観などの子育て・教育	9人	30.0%
ウ	親の介護や治療時の対応	7人	23.3%
エ	町内会やボランティアなど地域活動	7人	23.3%
オ	女性が自由時間を持てるようにする支援	4人	13.3%
カ	その他	0人	0.0%
		30人	100.0%

◆家庭生活で男性がもっと担うべきことについて、「子どもの送迎や看護、授業参観などの子育て・教育」が30.0%、次いで「親の介護や治療時の対応」と「町内会やボランティアなど地域活動」が23.3%であった。

11. 男性が担うべきことは何？



12. 自由意見

○たのしい時間をすごせました

○休憩時間を設定して下さい

○地方全体に広がれば、参加者が増えて意識視野が広がる

○女性活躍と言いながら、女性を優遇し、男性を低くする感がある。私は、炊事・洗濯、授業参観、親の介護をやっているが妻はほとんど協力しない。人間には、女性は女性、男性は男性の役割があり、共同参画は心の中のものである

○若い人との話し合いができて、すごくよかったです